

専門教養
令和7年7月
60分

受験教科等
特別支援学校中・高 保健体育

注 意

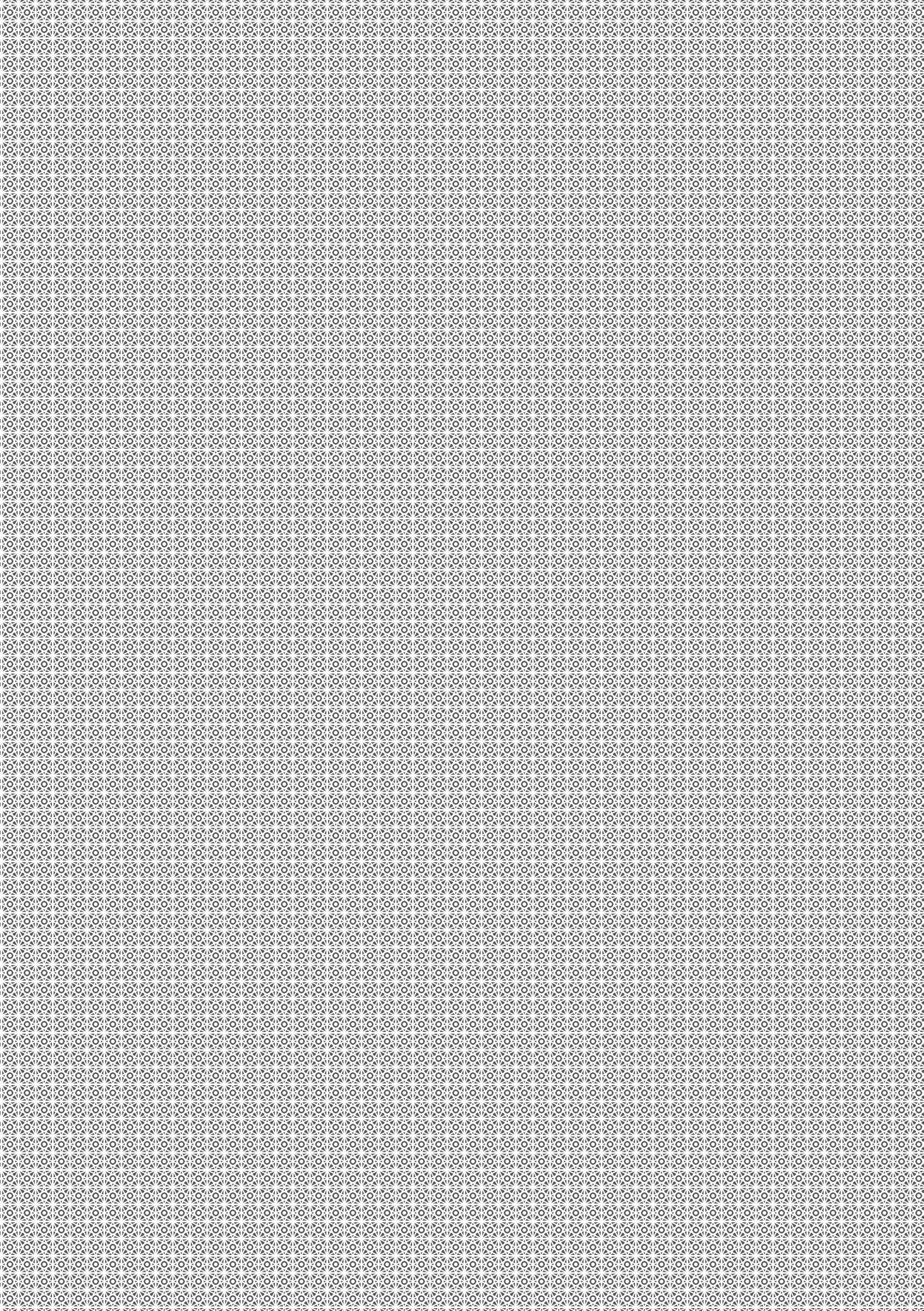
- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、12ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効となります。**解答用紙の【1】の欄には、受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマークしてください。【2】の欄には、氏名を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは不要です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** **1** ~ **3**、**特別支援教育の専門に関する問題** **I** の各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤りとします。**
- 2 「解答番号は **1**。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 **1** の解答欄の③にマークしてください。

解答番号	解答欄									
	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載しております。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



教科等に関する問題

1 次の各間に答えよ。

[問 1] スポーツ基本法の基本理念に関する記述として適切でないものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 1 。

- 1 スポーツは、とりわけ心身の成長の過程にある青少年のスポーツが、体力を向上させ、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培う等人格の形成に大きな影響を及ぼすものであり、国民の生涯にわたる健全な心と身体を培い、豊かな人間性を育む基礎となるものであるとの認識の下に、学校、スポーツ団体、家庭及び地域における活動の相互の連携を図りながら推進されなければならない。
- 2 スポーツは、スポーツを行う者の心身の健康の保持増進及び安全の確保が図られるよう推進されなければならない。
- 3 我が国におけるスポーツの理念が示されており、スポーツが、国際相互理解の増進や国際平和に寄与するものとなるよう推進されることについては基本理念として示されていない。
- 4 スポーツは、人々がその居住する地域において、主体的に協働することにより身近に親しむことができるようになるとともに、これを通じて、当該地域における全ての世代の人々の交流が促進され、かつ、地域間の交流の基盤が形成されるものとなるよう推進されなければならない。

[問 2] 次の図は、熱中症予防運動指針に関するものである。図中の空欄 **ア**・**イ** に当てはまる数値の組合せとして適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **2**。

図

WBGT [°C]	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、 イ 分おきくらいに休憩をとる。
	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
21	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

(公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」
(令和元年5月) から作成)

- | | |
|--------|------|
| 1 ア 27 | イ 30 |
| 2 ア 27 | イ 60 |
| 3 ア 28 | イ 30 |
| 4 ア 28 | イ 60 |

[問 3] プールの施設・設備の安全管理に関する記述として、「学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引（三訂版）」（文部科学省 平成26年6月）に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **3**。

- 1 水温管理の目安は、低学年や初心者ほど水温に敏感で、一般的に23℃未満ではあまり学習効果は期待できないため、水温は24℃以上であることが望ましい。上級者や高学年であれば23℃以上の水温が適当である。
- 2 水の消毒には、次亜塩素酸ナトリウム液、次亜塩素酸カルシウム又は塩素化イソシアヌル酸のいずれかが使用される。消毒作用は、持続性に優れているが、速効性はない。
- 3 プールの排水口等については、安全対策が確実に確保されているかのプール使用期間前後の点検、日常の点検・監視による安全確認、異常が発見されたときに迅速かつ適切な措置が実施されるような管理体制を整備しておくこと等が必要である。
- 4 水位設定では、水を抜くなどの方法で水位を調整する場合は、授業の前後で担当教職員と引き継ぎせずに水位を確認する。

2 「体育」に関する次の各間に答えよ。

[問 1] 跳び箱の指導に関する記述として、「学校体育実技指導資料 第10集 器械運動指導の手引」(文部科学省 平成27年3月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **4**。

- 1 開脚跳びでは、手、腕の操作は初期の「突き放し、切り返し」から、次第に「支えて体を前移動」が行えるように指導する。
- 2 屈身跳びでは、助走から両足踏み切りを行い、飛び箱に手を着いて足で飛び乗り、手で突き放し、膝を曲げて胸の方に引き寄せ、両足で飛び箱に乗れるように指導する。
- 3 首はね跳びでは、真上にはね動作をしないよう、飛び箱上の支持面より腰が前に出る前に、はね動作を行うように指導する。
- 4 前方倒立回転跳びでは、手の突き放しの仕方が分からぬときは、ステージ上などからマット運動の前方倒立回転跳びと同じように手の突き放しを行い、安全に着地できるように指導する。

[問 2] 平泳ぎに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **5**。

- 1 ストリームラインとは、頭を下げて体を一直線にするけ伸びのことであり、手は肩の幅に開き、前方にしっかり伸ばす。
- 2 脚の動作は、両足先をそろえて伸ばした状態から両膝を引き寄せながら肩の幅に開き、同時に足のつま先を上向きにして踵を尻の方へ引き寄せる。
- 3 腕の動作は、逆ハートを描き力強く脇をしめ、胸の前で両手を合わせる。手を合わせたまま抵抗を受けないように前方へ返す。
- 4 ターンやゴールタッチは水面の上下どちらでもよいが、片手で行わなければならぬ。

[問 3] サッカーの競技規則に関する記述として、「サッカー競技規則 2024/25」(公益財団法人日本サッカー協会 2024年7月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **[6]**。

- 1 試合は、11人以下の競技者からなる二つのチームによって行われ、いずれかのチームが8人未満の場合、試合は、開始も続行もされない。
- 2 交代要員は、主審の合図を受ける前にハーフウェーラインのところから競技のフィールドに入ることができる。
- 3 全ての相手競技者は、スローインが行われる場所のタッチライン上の地点から少なくとも1m離れなければならない。
- 4 競技者がゴールキックからボールを直接受けたとき、オフサイドの反則にはならない。

[問 4] 剣道の技に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **[7]**。

- 1 出ばな面は、応じ技の一つで、相手が攻め込もうとする、又は、打ち込もうとするときに、その起こりばなをすかさず踏み込んで正面を打つ技のことである。
- 2 小手すり上げ面は、応じ技の一つで、相手の小手打ちに対して、竹刀の左又は右側面で、相手の竹刀をすり上げると同時に面を打つ技のことである。
- 3 扱い小手は、応じ技の一つで、右足から攻め込むと同時に、相手の竹刀を右上に小さく扱い上げ、素早く右小手を打つ技のことである。
- 4 引き胴は、応じ技の一つで、送り足で、後方あるいは斜め後方に退きながら右胴を打つ技のことである。

[問 5] 次の記述は、我が国のある踊りに関するものである。この踊りの名称として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は **[8]**。

北海道の日本海沿岸でのニシン漁の際に唄われた唄が発祥元で、漁師たちの力強く躍動感あふれる姿をイメージして踊る。

- 1 阿波踊り
- 2 エイサー
- 3 ソーラン節
- 4 よさこい節

3 「保健」に関する次の各間に答えよ。

[問 1] 我が国の医療制度に関する記述として適切なものは、次の**1～4**のうちのどれか。解答番号は **9**。

- 1 医療機関は病院と診療所に大別でき、40床未満もしくは病床をもたないものを診療所という。
- 2 医療技術の進歩や高齢化などを受け、高度な医療を行う大学病院やがんセンターなどの地域医療支援病院が設置され、緊急の患者に対応するための緊急医療体制の整備も進んでいる。
- 3 国民皆保険制度により、医療費は被保険者から7割、保険者から3割の支払いで医療を受けられるようになっている。
- 4 かかりつけ医は、けがや高血圧症など日常見られる病気などを診察し、必要に応じて他の病院へ紹介を行うなど、地域における個人や家庭の健康相談、健康管理の役割を担っている。

[問 2] がんに関する記述として適切なものは、次の**1～4**のうちのどれか。解答番号は **10**。

- 1 大腸がんは、結腸、直腸、肛門に発生するがんで、運動不足や肥満がリスク要因である。がんが進行すると、血便、下痢と便秘の繰り返し、便が残る感じ、体重減少などが起こる。
- 2 肺がんは、ピロリ菌の感染が発病に関わる。日本人のがんの中で死亡数が最も多く、特に男性が多い。
- 3 肝臓がんは、喫煙が主な原因で、肝臓の細胞ががん化したものである。男性に多い傾向がある。
- 4 子宮がんは、ヒトパピローマウイルス感染が原因で、子宮の入口にできる子宮体がんと子宮体部にできる子宮頸がんの2種類に分けられる。

[問 3] 生活習慣病に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は

[11]。

- 1 脳血管疾患には、脳内の血管が詰まって血流が途絶えてしまう脳出血と脳内の血管が破裂して出血を起こす脳梗塞がある。
- 2 虚血性心疾患の危険因子には、高血圧、脂質異常症、糖尿病がある。
- 3 二次予防とは、適切な生活習慣を身に付けることによって、健康を増進して発病を予防するものである。
- 4 三次予防は、健康診断やがん検診を定期的に受診し、生活習慣病の早期発見と治療の開始につながりやすく、病気の進行を食い止めたり改善させたりすることができる。

[問 4] 教室等の環境に係る学校環境衛生基準に関する記述として、「学校環境衛生基準」

(文部科学省 令和6年3月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。

解答番号は **[12]**。

- 1 温度は18°C以上、30°C以下であることが望ましい。
- 2 換気の基準として、二酸化炭素は、1600ppm以下であることが望ましい。
- 3 コンピュータを使用する教室等の机上の照度は、500～1000lx程度が望ましい。
- 4 教室内の等価騒音レベルは、窓を閉じているときはLAeq55dB以下であることが望ましい。

特別支援教育の専門に関する問題

I 次の各間に答えよ。

[問 1] 次の記述は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領特別活動に関するものである。

記述中の空欄 **ア** ~ **ウ** に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の 1 ~ 4 のうちのどれか。解答番号は **13** 。

小学部又は中学部の特別活動の目標、各活動・学校行事の目標及び内容並びに指導計画の作成と内容の取扱いについては、それぞれ小学校学習指導要領第6章又は中学校学習指導要領第5章に示すものに準ずるほか、次に示すところによるものとする。

- 1 学級活動においては、適宜他の学級や学年と合同で行うなどして、少人数からくる種々の制約を解消し、活発な **ア** が行われるようにする必要があること。
- 2 児童又は生徒の経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むために、**ア** を通して小学校の児童又は中学校の生徒などと **イ** を行ったり、地域の人々などと活動を共にしたりする機会を積極的に設ける必要があること。その際、児童又は生徒の障害の状態や特性等を考慮して、活動の種類や時期、実施方法等を適切に定めること。
- 3 知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において、内容の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じて、適切に **ウ** を定め、具体的に指導する必要があること。

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1 ア 集団活動 | イ 交流及び共同学習 | ウ 指導の重点 |
| 2 ア 集団活動 | イ 指導の重点 | ウ 交流及び共同学習 |
| 3 ア 指導の重点 | イ 交流及び共同学習 | ウ 集団活動 |
| 4 ア 指導の重点 | イ 集団活動 | ウ 交流及び共同学習 |

[問 2] 特別支援教育に関する記述として、法令に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **14**。

- 1 特別支援学校には、幼稚部、小学部、中学部及び高等部を置かなければならないが、特別の必要のある場合においては、そのいずれかのみを置くことができる。
- 2 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校においては、疾病により療養中の児童及び生徒に対して、特別支援学級を設けることはできないが、教員を派遣して教育を行うことができる。
- 3 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。
- 4 特別支援学校の幼稚部の教育課程その他の保育内容、小学部及び中学部の教育課程又は高等部の学科及び教育課程に関する事項は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じて、各都道府県の教育委員会が定めるため、文部科学大臣は定めることはない。

[問 3] 障害者の権利に関する条約の第二条に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **15**。

- 1 「意思疎通」とは、言語、文字の表示、点字、触覚を使った意思疎通、拡大文字、利用しやすいマルチメディア並びに筆記、音声、平易な言葉、朗読のことであり、その他の補助的及び代替的な意思疎通の形態、手段及び様式は含まない。
- 2 「障害に基づく差別」とは、障害に基づくあらゆる区別、排除又は制限であって、政治的、経済的、社会的、文化的、市民的その他のあらゆる分野において、他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を認識し、享有し、又は行使することを害し、又は妨げる目的又は効果を有するものをいい、あらゆる形態の差別は含まない。
- 3 「合理的配慮」とは、障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課すものをいう。
- 4 「ユニバーサルデザイン」とは、調整又は特別な設計を必要とすることなく、最大限可能な範囲で全ての人が使用することのできる製品、環境、計画及びサービスの設計をいう。ユニバーサルデザインは、特定の障害者の集団のための補装具が必要な場合には、これを排除するものではない。

[問 4] 視覚器の部位に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **16** 。

- 1 角膜は、直径約10～12mm、厚さ約1mmの円柱状の膜である。眼球の外層である眼球線維膜の前6分の1の部分である。
- 2 虹彩は、水晶体の前方に伸びる膜状組織で、眼内に入る光の量を調節する。虹彩の中央の開口部が瞳孔である。
- 3 毛様体は、内部に毛様体小帯を有し、毛様体筋と呼ばれる細い糸が出て、水晶体に付着している。
- 4 水晶体は、直径約9mm、厚さ約4～5mmの透明な凹レンズで、水晶体の厚さが変わることで焦点距離が変わり、遠近調節が行われる。

[問 5] 聴覚障害のある児童・生徒に対する指導内容に関する記述として、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 令和3年6月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **17** 。

- 1 聴覚障害のある子供にとって、話し言葉を聞き分けたり、明瞭に発音したりすることは、困難性が低く、補聴器等の性能の向上、人工内耳の普及、早期からの教育的対応の効果により、聴覚活用の可能性が広がっている。
- 2 言葉の習得は、単に名称を理解することだけでなく、人との関わりを深めることや、知識の習得や思考力の伸長などにつながるため、子供の発達の程度に応じた段階的な言葉の指導が必要である。
- 3 聴覚障害のある子供の場合、視覚的な手掛かりを中心に判断することがある。このため、相手の言動や起こった出来事の流れに関係なく、相手の意図や感情などを判断することを指導する必要がある。
- 4 補聴器や人工内耳を装用していれば、音や音声を完全に聞き取れるので、補聴援助機器を活用して聞き取りやすくするといった補助手段の活用に関する指導は必要ない。

[問 6] 知的障害のある児童・生徒に対する指導の形態に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **18**。

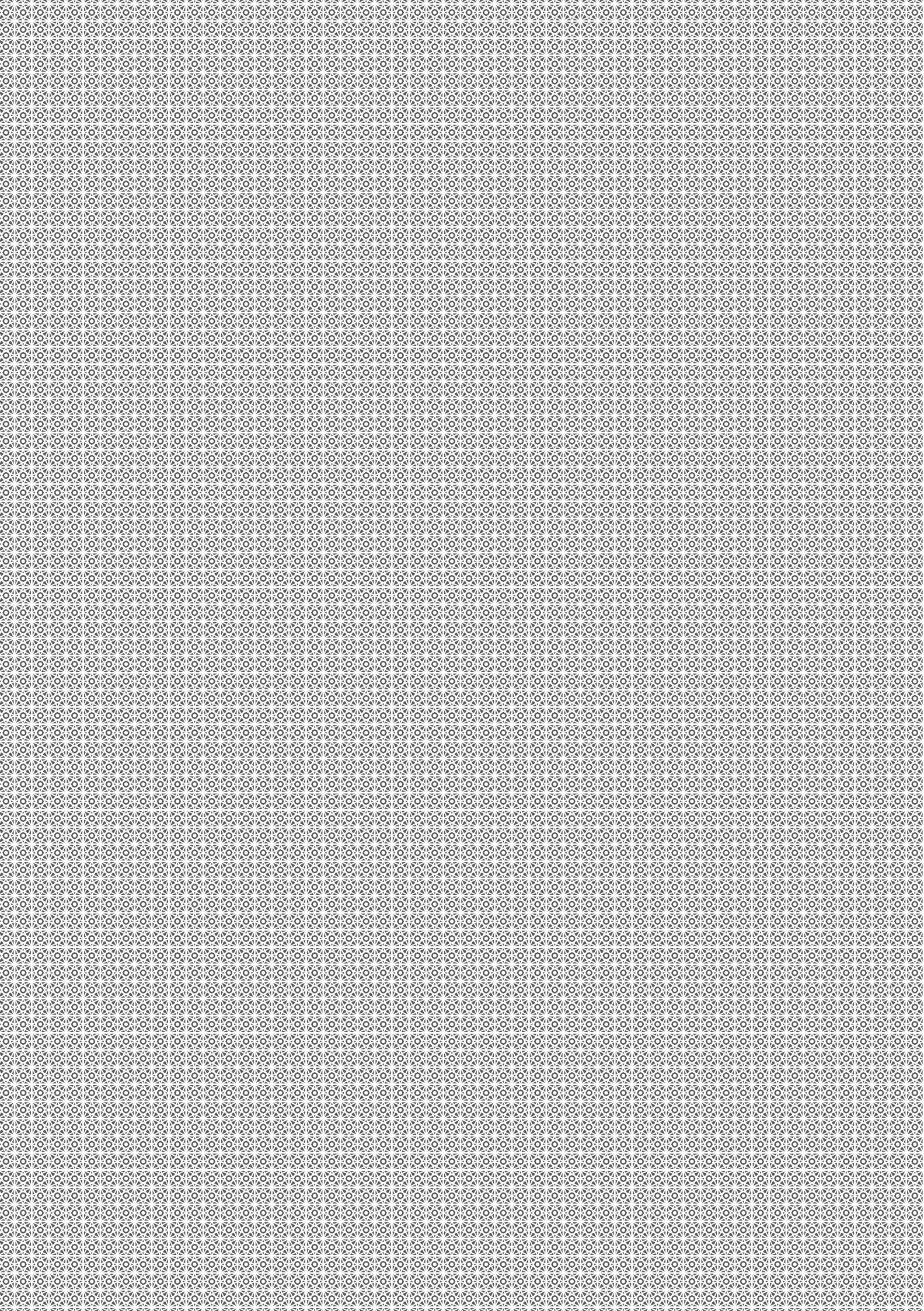
- 1 遊びの指導は、衣服の着脱や食事、排泄、手洗いや洗面などの衛生面での生活動作など、ADLを扱うことに強みを発揮する指導の形態である。特に、学校での生活の中で自然な形で学習課題を組み込むことが求められている。
- 2 生活単元学習は、特に就学前の時期からの学習経験を小学部以降の学校生活につなげる上で、遊びを中心とした指導の形態である。特に、身体活動を多く取り入れた遊びや、人間関係の形成を主なねらいとした遊びの指導を計画することが求められる。
- 3 日常生活の指導は、子供の生活課題を解決することなどをねらいとして、その単元で扱うテーマのもとに、生活に即したさまざまな学習課題を関連付けて展開する指導の形態である。児童・生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。
- 4 作業学習は、作業活動を中心として、働く意欲や将来の職業生活、社会自立などをテーマとして学習を展開する指導の形態である。作業学習で扱われる作業活動の種類としては、農耕、園芸、紙工、木工、縫製、織物、金工、窯業、セメント加工、印刷、調理、食品加工、クリーニング、事務、販売、清掃、接客などがある。

[問 7] 肢体不自由のある児童・生徒に対する摂食指導に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **19**。

- 1 体幹と頭部を安定させ、各部の関節を適度な角度に屈曲させ、リラックスした姿勢をとる。
- 2 未定頸で摂食嚥下機能の未熟な子供は、体幹を倒したほうが摂食指導を行いやすい。体幹の角度にかかわらず、頸部は軽く後屈した姿勢をとる。
- 3 椅子座位で自食する場合は、机の高さは、胸よりも上の位置とする。
- 4 椅子座位で自食する場合は、椅子に座ったときに、腰、ひざ、足首は90度に曲がった状態で、足底を床から浮かせるようにする。

[問 8] 疾病に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は
[20]。

- 1 気管支喘息とは、発作的な気管支の狭窄による呼吸困難を繰り返す疾患である。呼吸困難症状には咳嗽、喘鳴などがある。治療薬として、吸入ステロイド薬がある。
- 2 血友病とは、血液凝固因子の過剰による血液凝固障害、出血傾向をきたす疾患である。症状は皮下出血、口腔内出血、関節内出血などの出血症状である。治療は、血液凝固因子を、注射薬によって定期的に補充することであり、通常生涯にわたって必要である。
- 3 てんかんとは、発作的に脳の神経細胞に異常な電気的興奮が起こり、その結果、意識、運動、感覚などの突発的な異常を来す病気である。発作は、脳全体が異常興奮する部分発作や、脳の一部分が興奮して起こる全般発作がある。治療は、薬物療法が主体であり、抗てんかん薬の服用により、発作をコントロールする。
- 4 ネフローゼ症候群とは、大量の蛋白尿により血清蛋白が減少する疾患で、むくみを認めることが多い。小児では特発性ネフローゼ症候群が90%を占め、原因は不明である。好発年齢は3～6歳の幼児期で男子に多い。治療薬として、ステロイド薬が有効であり、一旦寛解すれば再発を繰り返すことはない。



3 問題文中の **[2]**、**[3][4]** などの **[]** には、数字又は符号 (−) が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) **[2]**、**[3]**、**[4]**、……の一つ一つは、それぞれ 1~9、0 の数字又は符号 (−) のいずれか一つに対応します。それらを **[2]**、**[3]**、**[4]**、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、**[2][3][4]** に −84 と解答する場合には、次の（例 2）のようにマークします。

解答番号	解答欄
[2]	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
[3]	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ −
[4]	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ −

なお、同一の問題文中に **[2]**、**[3][4]** などが 2 度以上現れる場合、原則として、2 度目以降は、**[2]**、**[3][4]** のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{[5][6]}{[7]}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $-\frac{4}{5}$ として、次の（例 3）のように

マークします。

解答番号	解答欄
[5]	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
[6]	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ −
[7]	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ −

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで ⑩ にマークしてください。

例えば、**[8][9][10]** に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

問題番号		解答番号	正答	配点	備考
大問	小問				
1	問1	1	3	5	
	問2	2	3	5	
	問3	3	3	5	
2	問1	4	4	5	
	問2	5	3	5	
	問3	6	4	5	
	問4	7	2	5	
	問5	8	3	5	
3	問1	9	4	5	
	問2	10	1	5	
	問3	11	2	5	
	問4	12	3	5	
I	問1	13	1	5	
	問2	14	3	5	
	問3	15	4	5	
	問4	16	2	5	
	問5	17	2	5	
	問6	18	4	5	
	問7	19	1	5	
	問8	20	1	5	